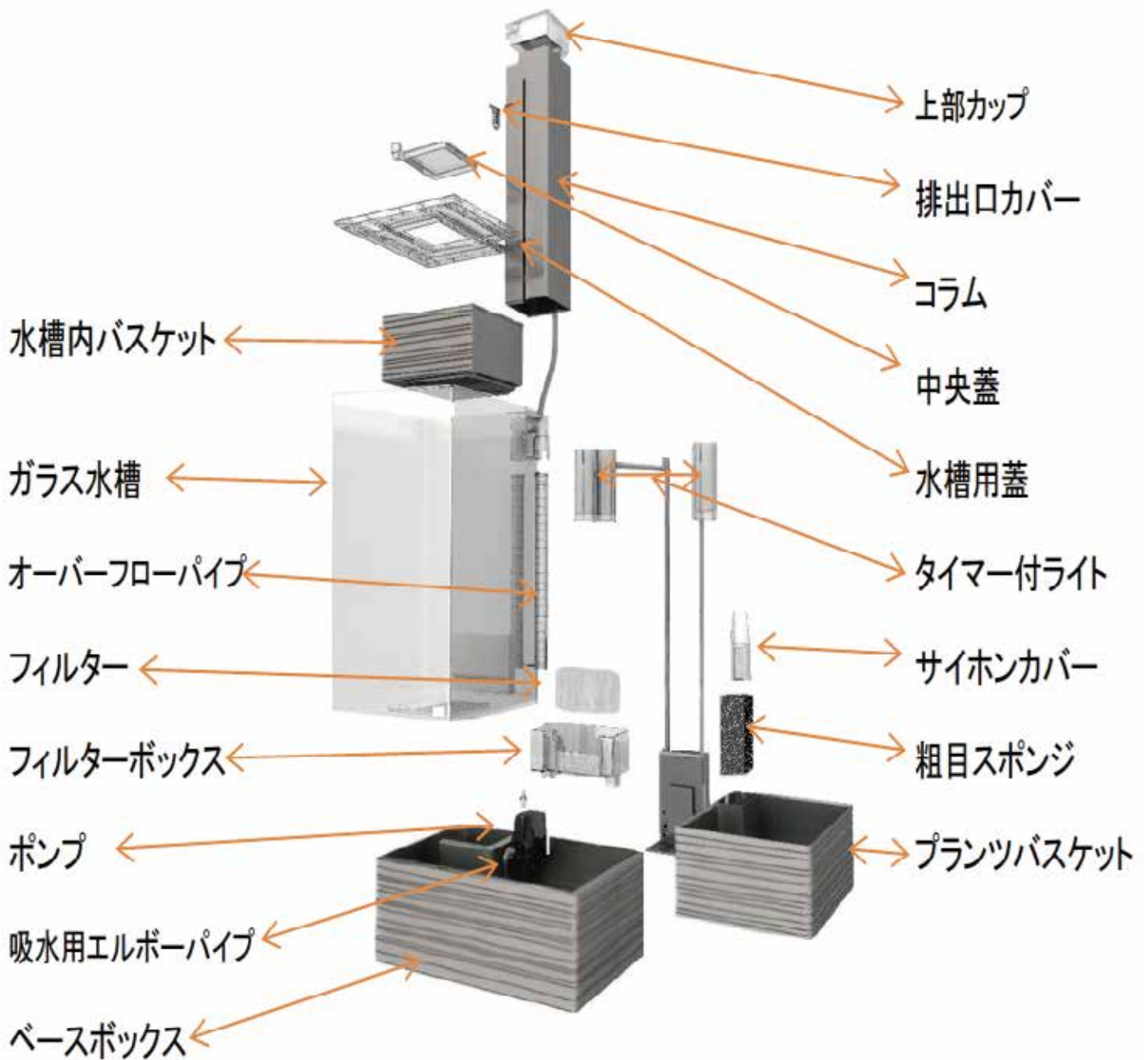


brio™のお手入れ方法

35


—各パーツの名称—



brío 35 水槽内バスケット設置に関するの注意点

 必ず水槽の側面に密着させてください。

 密着している

 隙間ができている



・少しでも隙間ができていると、魚がコラム内へ入り込み水槽から消えてしまうという現象が起きてしまいます。さらに魚がそのまま奥にあるパイプに流れて詰まることにより、水が水槽から溢れてしまう危険もあります。その為、水槽内バスケット設置時は隙間ができないようにしてください。

・お手入れをされた際も、バスケットがずれないようにお気をつけください。



※ほんの少しの隙間でも特に小さい魚は入り込んでしまう可能性があります。

日々のメンテナンス

①お魚 エサやり方法

エサをあげる頻度・・・2日に1回



水槽の中央蓋を開けます。



エサを一つまみします。



エサを水槽の中に撒きます。



！ 注意点

1度の量を多く与えないでください。ガラス面が汚れたり水質悪化の原因となることがあります。
※写真の量を目安にしてください。

②水足しの方法

水足し頻度・・・週に1～2回



プランツバスケットをスライドさせて開けます。



隙間からベースボックスへ水を足していきます。



水の量は水位柱の天面を目安にしてください。

！ ワンポイント

水道水を使用する際は、ペットボトルなどに水を入れて24時間経過するとカルキが抜けます。

③水槽内お掃除道具



水槽のガラス面が汚れている場合はメラミンスポンジを使用しやさしくこするときれいに汚れが落ちます。



ガラスの角の部分や水槽内バスケットの溝は歯ブラシなどの先端が柔らかいブラシを使用して汚れを落としてください。



水槽底面の砂利のお掃除にはbrio35専用バキュームクリーナーのご使用をお勧めします。

数日に1度はチェックして欲しいポイント

＜排出口のお手入れ＞

(魚などに餌を与える時に毎回確認しお手入れをするようにしてください。)

◎予備の排出口カバーを手元に用意してからお手入れを開始してください。



ゴミや水草が詰まっている場合はコラムにある排出口カバーを取り外し水で洗い流してください。洗い終わったカバーは乾かしてから保管してください。

※排出口カバーを取り外す時はすぐに予備のカバーを取り付けてください。開いたままにすると観賞魚が誤ってコラム内に落ちる危険性があります。

＜プランツバスケットのお手入れ＞

～プレフィルター粗目スポンジのお手入れ～

(水を足す時に毎回お手入れすることをおすすめします。)



粗目スポンジを取り出し、水できれいに洗ってください。

～サイフォン内の掃除～

(水を足す時に毎回お手入れすることをおすすめします。)



プランツバスケットをスライドして開けてください。



サイフォンカバーを取り外し水で洗い流してください。その際カバー上面にある穴にゴミなどが詰まっていれば取り除いてください。またサイフォン中央の穴にも根が入り込んでいたりゴミが詰まっていないか確認しあれば取り除いてください。



サイフォン内に植物の根がからまっている場合はセットに付属されている根取りツールを使って取り除いてください。

※サイフォン内に根がからまったままですとサイフォン機能に不具合が生じる原因となります。

汚れた場合のお掃除について

◎以下の作業からは本体ポンプの電源を抜いてから行ってください。

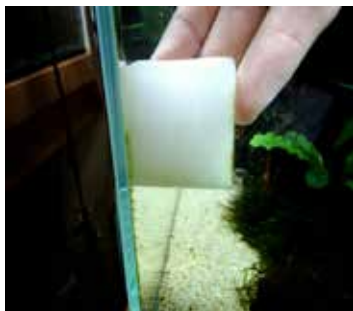
ヒーターを使用している場合はヒーターの電源も抜いてください。

※LED ライトの電源は抜く必要はありません。

<水槽内のお手入れ>

～ガラス面と水槽内バスケットの掃除～

(水を足す時に毎回お手入れすることをおすすめします。)



水槽のガラス面が汚れている場合はメラミンスポンジを使用しやさしくこするときれいに汚れが落ちます。

※水槽内に手を入れる際はゆっくりと入れるようにしてください。勢いよく入れると水がこぼれてしまう可能性があります。



ガラスの角の部分や水槽内バスケットの溝部分にも汚れが付きやすくなりますので歯ブラシなどの先端が柔らかいブラシを使用して汚れを落としてください。



水槽内バスケットの溝のお掃除をする際にはバスケットが元の位置からずれないように気をつけてください。水槽内バスケットの位置がずれることによりコラムとの間に隙間ができ、観賞魚が隙間から入り込んで死ぬ恐れがあります。

<フィルターのお手入れと交換>

(フィルターの交換は2ヶ月～4カ月に1度交換することをおすすめします。)

◎バケツをご用意していただくと作業をしていただきやすくなります。



プランツバスケットをスライドさせてストッパーに引っかかるところまで開けます。



そこからバスケットをゆっくりと持ち上げてください。

※植物や水分で重くなっていますので両手で持ち上げるようにしてください



奥側にサイフォン部分が低くなるように傾けて水を流してください。



その後バスケットをゆっくりと反対側に傾けてバスケット下に付いているL字パイプに残っている水を抜いてください。



その後ベースボックスはバケツの上に置いておいてください。



フィルターボックスを取り出し汚れが気になるようであれば水で洗い流してください。



フィルターは新しく交換してください。

※フィルターの汚れが気になるようであれば2ヶ月以内に交換していただいても結構です。

Q & A(よくあるご質問)

Q. プランツバスケットから水が溢れてきました。どのように対処すれば良いですか？

A. サイフォン内に植物の根が絡まっている可能性があります。サイフォンカバーを取り外して、サイフォン内に根が絡まっていないかを確認してください。根が絡まっていれば、付属されている専用の根取りツールで取り除いてください。

Q. ガラス水槽から水が溢れてきました。どのように対処すれば良いですか？

A. ①排出口にゴミが詰まっている場合は、カバーを取り外し、水草やゴミを水で洗い流してください。その際、魚が排出口から落ちるのを防ぐため、必ず予備の排出口カバーを取り付けてください。

②オーバーフローパイプにゴミが詰まっている可能性があります。ポンプの電源を抜いてからコラム下につながるパイプとポンプを取り外し、オーバーフローパイプに何か詰まっていないかを確認してください。詰まっていれば、取り除き再度ポンプと接続し通常に作動するかを確認してください。

Q. 水槽内の水が濁ってきたのですが。

A. ①ハイドロコーンの洗いが足りない可能性があります。やさしく、しっかり洗ってから使用してください。

②水槽内に流木などのアクが出る装飾を行っている場合は流木のアク抜きをしてください。※それでも水の濁りが取れない場合は、一度1/3程度の水換えをしてください。

Q. プランツバスケット内に水が回っていない。水位が上下していない。

A. ①粗目スポンジにゴミが溜まっており水路が詰まっている可能性があります。粗目スポンジを取り出し水洗いし、ゴミを取り除いてください。

②サイフォン機能が稼働していない可能性がありますので、サイフォンカバー内にゴミが溜まっていないかを確認し、あれば取り除いてください。
またプランツバスケット下に取り付けてあるL字パイプがきちんと奥まで差し込まれているかを確認し、ぐらついていればしっかりと差し込んでください。
※この作業は水がこぼれる可能性がありますのでバケツなどを用意して行ってください。

Q. 排出口カバーは何故2つあるのですか？

A. 排出口のカバーにつきましては、1つは予備となっております。排出口はカバーをしていないと魚がコラム内に落ちてしまう危険性があります。その為、排出口の掃除をする際などで外される場合は必ず予備の排出口カバーをはめるようにしてください。

Q & A(よくあるご質問) つづき

Q. ポンプ音が異常にうるさいのですが。

A. 物理的に振動(コードやポンプ設置位置)などが干渉する事で必要以上にモーター音が発生すると考えられる原因と致しましては下記の2点が考えられます。

要因1

モーターのコードを後側のくぼみから上手く出ていなくて起こる振動。



もし写真とコードの位置が違う場合、くぼみコードを這わしてみてください。

要因2

ポンプを設置する際に、ポンプの足が下記赤丸4点にはまっていないために振動が起きている。



Q. L字パイプはどこに取り付けられればいいですか？

A. プランツバスケット底側、サイフォン部分の下側に下記画像の様な窪みがございます。



注意点；穴側の窪みとL字パイプ側の突起位置を合わせてから挿入して下さい。
プランツバスケット奥深くL字パイプが止まるまで挿入して下さい。

弊社ホームページのbrilio ページ内の「よくあるご質問」でも上記以外の様々な事例を記載しておりますので、併せてご確認ください。



Facebook



twitter



Instagram



BEM brio35



〒578-0904 大阪府東大阪市吉原 1 丁目 4-22

TEL : (072) 962-9666

<http://www.bempartner.com>